関空･紀淡･四国高速交通インフラの早期実現に向けて

関空･紀淡･四国高速交通インフラ期成協議会

令和８年度政策提言書

関空･紀淡･四国高速交通インフラの早期実現に向けて

東日本大震災を契機に、東京一極集中の脆弱性が再認識されました。令和８年７月の熊本地震、同年８月の千葉豪雨など、全国各地で大規模な自然災害が相次いで発生しており、建物の倒壊・損壊や浸水等の被害に加え、道路、橋梁、上下水道施設及び鉄道施設などのインフラにも甚大な被害があったところです。このような大規模災害等のリスクを分散し、双眼型・多軸型の国土構造を構築するには、関西を中心に四国や九州など西日本が一体となって発展していくことが重要です。

また、日本の成長、国際競争力の強化には、諸外国の活力を西日本全体に取り込むことが必要であることから、関西国際空港の機能強化や大阪都心と関西国際空港を結ぶ高速交通アクセスの整備を図るとともに、西日本全体をつなぐ高速交通インフラの整備が重要です。

さらに、西日本の大動脈である山陽新幹線には、代替機能を担う高速鉄道網がないことから、大規模災害等に備えたリダンダンシーの確保や多軸型の強靭な国土形成の観点から高速鉄道網の多重化が重要です。

これらを実現するには、大阪都心部と関西国際空港を結ぶ高速交通アクセスをはじめ､大阪から､紀淡海峡などを経て、四国、九州へと西日本全体をつなぐ四国新幹線や大阪湾を囲む関西大環状道路などの高速道路の整備が肝要ですが、紀淡

海峡ルートを含む海峡横断プロジェクトは依然凍結されたままであり、総合的な交通網の形成には見通しが立っていません。

　ついては、現在整備が進められている関西大環状道路・大阪湾環状道路、大阪都心部と関西国際空港を結ぶ高速交通アクセスの早期整備、さらに紀淡海峡ルート並びに四国新幹線の早期実現に向け、次の事項について提言します。

１　大阪都心部と関西国際空港を結ぶ高速交通アクセスについての検討を進め、早期整備に向けた取組みを推進すること

２　関西大環状道路及び大阪湾環状道路の早期整備に向けた取組みを推進すること

３　紀淡海峡ルートの早期実現につながる調査を再開すること

４　大阪都心部から四国、九州へとつながり、第二国土軸を形成し、現国土軸のリダンダンシーの確保及び西日本全体の発展に資する四国新幹線の整備計画への格上げに向けた調査を早期に実施すること。

令和８年１０月

関空･紀淡･四国高速交通インフラ期成協議会

名簿

（会員）

会長	和歌山県知事	宮崎　泉
	大阪府知事	吉村洋文
	兵庫県知事	齋藤元彦
	奈良県知事	山下　真
	徳島県知事	後藤田正純

（オブザーバー）

香川県知事	池田豊人
愛媛県知事	中村時広
高知県知事	濵田省司
大分県知事	佐藤樹一郎
宮崎県知事	河野俊嗣